

2023年度事業報告承認の件

1. 国は社会保障改革の名の下に、社会保障費の抑制や削減を進めています。社会保障費の2023年度予算では、高齢化による自然増が5,600億円と見込まれていましたが、この自然増を4,100億円で抑制し、1,500億円圧縮することで決着しました。この様に政府は、コロナ禍や物価高騰で深刻な人手不足などに苦しむ医療・介護体制の抜本的拡充に背を向け、社会保障費の抑制ありきの姿勢を示しています。社会保障の中心をなす社会保険制度(年金・医療・介護)でも、これまでに保険料の引き上げ・給付要件の厳格化(給付適用範囲の縮小)など、利用者の自己負担増となる改悪が立て続けに行われています。

介護保険料は3年に一度見直され、創設時には全国平均で月額2,911円でしたが、現在ではほぼ2倍の月額6,014円と上昇しています。宮城県平均では、制度開始時(2000年)に月額2,697円であった介護保険料は、現在5,939円に達し、開始時の2倍以上となっています。保険料は上がり続けるのに、サービスは縮小し続けているのが現状です。

一方、介護現場では、これまでの度重なる介護報酬の引き下げによって、職員賃金や労働条件の改善を困難にしています。介護職員の所定内賃金は全産業平均を月額7万円も下回る低い水準となっており、低賃金を理由とした人材流出に歯止めがかからないのが現状です。厚生労働省の調査で、介護職から離職する人が新規入職者を上回る「離職超過」が2023年に初めて起きていた事が明らかになっています。この様に、介護現場の人手不足は年を追って深刻化しています。

さらに、コロナ禍に伴う減収や物価高騰が介護事業所の経営を一層深刻な事態へ導いています。東京商工リサーチ(民間信用調査)によると、2023年の「老人福祉・介護事業」の倒産は122件で、昨年に続き過去2番目を記録しました。倒産以外でも事業を停止した介護事業者の休廃業・解散が510件と過去最多を更新しています。このうち、「訪問介護事業者」の倒産は過去最多を大幅に上回る67件に達し、訪問介護事業者の経営環境が特に厳しさを増しています。訪問介護員(ヘルパー)の有効求人倍率は15倍を超える状況が続いており、このままでは訪問介護事業所の存続だけでなく、介護保険制度そのものが崩壊しかねません。

「自立支援」「利用者本位」「尊厳の保持」を基本理念とした介護保険制度は施行後23年を経過しました。この23年の間に、制度維持のためにサービス削減や負担増を図る度重なる見直しが行われてきました。介護保険制度は、これまでの見直しによって「保険あってサービスなし」の事態が広がり、憲法で保障された「健康で文化的な生活を実現する」という介護保険制度の理念と大きく乖離しています。そのため、保険料や自己負担分を払えない人が、必要な介護サービスを受けられず、切り捨てられる事態を招いています。

憲法25条を土台にした介護保険制度創設時の理念に立ち返り、介護が必要な時に必要なサービスが保障される介護保険制度へと転換させるために、介護保険制度の抜本的な見直しが急務です。

介護・福祉ネットみやぎでは、2024年度の介護報酬改定にあたって、介護現場の現状をふまえ、介護事業者の安定的な事業運営、処遇改善、利用者負担の抑制を求めて、内閣総理大臣をはじめ関係大臣等に『2024年度介護報酬改定に向けて介護保険制度の見直しを求める要望書』提出しました。

だれもが安心して利用できる介護保険制度を実現するため、15団体と共に7回目となる「みんな

で考えよう介護保険 2023」を開催しました。フォーラムでは、高齢者の生活と権利、事業者・働き手への支援が図られるよう、内閣総理大臣はじめ関係大臣等に『2024 年度介護報酬改定に向けて介護保険制度の抜本見直しを求める要望書』を提出しました。併せて高齢者の生活を守り支える制度の実現を求め、宮城県知事及び仙台市長宛に『2024 年度介護保険法改定に向けよりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書』を提出し担当部局と懇談しました。

また、2023 年度は 2024 年度から実施される介護保険制度・介護報酬改定のための検討が行われた年でした。地方自治体においても、地域ごとの高齢化の状況や課題に応じた地域包括ケアシステムの実現に向け、第 9 期介護保険事業計画の見直しが行われました。介護・福祉ネットみやぎでは、宮城県、仙台市の高齢者福祉計画に対し、パブリックコメントを提出しました。

2023 年度総会では、総会記念講演として淑徳大学総合福祉学部結城康博教授を講師に「介護保険はどこに向かうのか？～社会保障と介護保険のゆくえ～」と題してご講演いただき、ハイブリット形式で 120 人が参加しました。

2. 2023 年度事業・活動の重点として、次の 5 点を重視して取り組みました。

- 1) 介護・福祉ネットみやぎの会員が相互に学びあい、会員事業所の介護・福祉サービスの質・マネジメント力の向上に役立つこと。
- 2) 介護サービスの向上に資する「情報の公表事業」、「地域密着型サービス外部評価事業」や「福祉サービス第三者評価事業」などの調査、評価事業を実施すること。
- 3) 介護人材の育成や定着に寄与するよう「みやぎ介護人材を育む取組宣言運營業務」を受託し運営すること。
- 4) 介護保険制度充実のために介護現場の実態を踏まえ、情報や意見を発信すること。
- 5) 大規模自然災害や新型コロナウイルス感染症に対して、介護・福祉サービス事業団体として地域の実情を踏まえた活動を進めてきました。

(1) 介護事業所の介護サービスの質・マネジメント力の向上のために、実務担当者研修として、年 5 回の研修をハイブリット形式で実施しました。第 1 回「一人ひとりの豊かな生活につながる口腔ケア支援」、第 2 回「高齢者の消費者被害とトラブル防止」、第 3 回「5 類後の新型コロナウイルス感染症対策」、第 4 回「2024 年介護保険制度改定状況と事業対応」、第 5 回「わが事業所の BCP をつくろう」について学習及び情報提供を行いました。

また、福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員の共同委嘱事業では、5 人の第三者委員に 14 団体 129 事業所が共同委嘱しました。

(2) 2023 年度「介護サービス情報の公表制度」「地域密着型サービス外部評価」「みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度第 2 段階確認調査」の調査は感染対策を行いながら、訪問による調査を実施しました。調査手法の運用にあたり、各調査手法のマニュアルの点検や調査員研修および事務局体制を整備し、調査が安定的に行えるよう取り組みました。

①介護サービス情報の公表制度の調査は、「令和 5 年度『介護サービス情報の公表』制度 報告・調査事務・情報公表事務に関する計画」に基づき 583 事業所を実施しました。

②地域密着型サービス外部評価は 57 事業所の評価を実施しました。

③福祉サービス第三者評価は4事業所の評価を実施しました。

(3) みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度運営業務

みやぎ介護人材確保協議会「みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度（以下、宣言認証制度）」の運営業務を引き続き宮城県より受託しました。

- ① 宣言認証制度の対象となる事業所及び県民への広報、宣言認証制度推進委員会の運営（年1回）、宣言認証制度第1段階、第2段階の受付、宣言認証制度ホームページの更新、申請・認証のための事務作業などを行いました。ホームページでは県内で実施される介護に関する研修情報を網羅するページを新設しました。宣言・認証制度のホームページをリニューアルしたことで、アクセス数を大幅に伸ばしました。リニューアル後（研修スケジュール掲載開始）の7月から2月までの累計前年比はセッション数（アクセス数）193.3%・ユーザー数210.1%・新規ユーザー数209.6%となりました。
- ② 2023年度の宣言認証第1段階の申請事業所69、うち宣言事業所数17、第1段階認証事業所は52、第2段階認証事業所は更新が20、新規が1でした。更に過年度宣言分で第1段階認証事業所となったのは46、今年度分を含めて総数で52です。宣言認証制度を開始した2016年度からの宣言事業所の総数は527、第1段階認証事業所は410、第2段階認証事業所79（内プレミアム認証事業所は51）となりました。
- ③ 2段階確認調査業務では、27人の調査員に確認調査を委託し、21事業所の確認調査を実施し、全ての事業所が認証されました。
- ④ 宣言認証制度の業務受託の終了
宮城県は、2024年度の宣言認証制度について制度を改めるとし、申請及び取り組みの進んでいない事業所への支援などを目的に、プロポーザル（公募型企画提案）方式を導入しました。介護・福祉ネットみやぎもこの企画提案に参加しましたが、業務委託候補者には選ばれませんでした。2015年の本制度の準備段階から8年間事務局を担いましたが、2023年度をもって本業務受託を終えることとなりました。

(4) 介護保険制度を充実するために介護現場の実態を踏まえ、意見を発信し学習にも取り組みました。

宮城の介護現場が抱える問題や課題を改善し、より良い介護保険制度を実現するため、2023年12月16日（土）「みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム2023」を県内で活動する他団体と共に開催しました。

みやぎ県民フォーラム実行委員会では、介護事業者の安定的な事業運営、処遇改善、利用者負担の抑制を求め、2023年10月23日（月）付けで内閣総理大臣はじめ関係大臣等へ『2024年介護報酬改定に向けて介護保険制度の抜本見直しを求める要望書』を提出しました。

高齢者の生活を守り支える制度の実現を求め『2024年度介護保険法改定に向けよりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書』を宮城県知事へ2024年1月31日（水）、仙台市長へ2024年2月9日（金）に提出し、担当部局と懇談しました。

介護・福祉ネットみやぎでは2023年11月28日（火）付けで内閣総理大臣はじめ関係大臣等へ『2024年度介護報酬改定に向けて介護保険制度の見直しを求める要望書』を提出しました。

宮城県及び仙台市の高齢者保健福祉施策の推進と介護保険事業の円滑な実施に向け2024年1

月 31 日（水）「第 9 期みやぎ高齢者元気プラン（令和 6～8 年度）」中間案」へ意見提出、2023 年 12 月 25 日（月）「仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険業計画（令和 6～8 年度）」中間案へ意見を提出しました。

3. 介護サービスの質・マネジメント力の向上のための事業

(1) 介護サービスの質の向上のためには様々な研修が必要です。会員事業所の介護サービスの質の向上に資するための研修事業として、実務担当者会議において拡大学習会をオンライン配信も含め5回開催しました。

- ① 第 1 回拡大学習会 2023 年 5 月 18 日（木）14:00～16:00 フォレスト仙台 4F 4A 会議室
『一人ひとりの豊かな生活につなげる口腔ケア支援』～在宅歯科医師の立場から～
講師：井上博之さん（松島医療生協松島海岸診療所歯科医師） 参加者 52 人
- ② 第 2 回拡大学習会 2023 年 7 月 13 日（木）14:15～16:20 フォレスト仙台 4F 4A 会議室
「高齢者の消費者被害とトラブル防止について」
講師：佐々木真知子さん（公益社団法人全国消費生活相談員協会東北支部長） 参加者 46 人
- ③ 第 3 回拡大学習会 2023 年 9 月 14 日（木）14:00～16:00 フォレスト仙台 4F 4A 会議室
「5 類後の新型コロナウイルス感染症対策について」
講師：残間由美子さん（公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院感染管理認定看護師・NPO 法人みやぎ感染予防教育推進ネットワークきれいな手 理事長） 参加者 44 人
- ④ 第 4 回拡大学習会 2023 年 12 月 14 日（木）14:00～16:00 フォレスト仙台 2F 第 10 会議室
「2024 年介護保険制度改定状況と事業対応」
講師：山際 淳さん（一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構常務理事） 参加者 75 人
- ⑤ 第 5 回学習会 2024 年 2 月 15 日（木）14:00～15:30 フォレスト仙台 5F 501 会議室
「わが事業所の BCP をつくろう」
講師：丸田礼子さん（社会福祉法人宮城厚生福祉会宮城野の里施設長） 参加者 15 人

(2) 介護・福祉ネットみやぎの会員団体のより一層の連携の推進について

会員団体の良質な介護・福祉サービス提供と健全な事業運営のために必要な情報共有と連携を推進し、介護・福祉ネットみやぎの運営や活動について検討することを目的に、実務担当者会議を開催しました。

<実務担当者会議の開催>

- ① 第 1 回 2023 年 5 月 18 日（木）16:00～17:00 フォレスト仙台 4F 4A 会議室
2023 年度実務担当者会議・拡大研修会企画内容を協議、年 5 回開催およびオンラインを含め会場とウェブ開催の併用による運営とすることを確認 出席者 17 人
- ② 第 2 回 2023 年 7 月 13 日（木）16:30～17:00 フォレスト仙台 4F 4A 会議室
「2024 年度介護保険法改定に向けた介護保険制度の改善をするための国への働きかけ」に関する宮城県議会との意見交換会について報告 出席者 16 人
- ③ 第 3 回 2023 年 9 月 14 日（木）16:00～16:30 フォレスト仙台 4F 4A 会議室
第 3 回実務担当者会議・拡大研修を受け、各会員団体のコロナ感染状況や対策等について情報交換 出席者 13 人
- ④ 第 4 回 2023 年 12 月 14 日（木）16:00～17:00 フォレスト仙台 2F 第 10 会議室

第4回実務担当者会議拡大研修会講師と今後の対応策について情報交流 出席者 19人

- ⑤ 第5回 2024年2月15日(木) 15:30~16:00 フォレスト仙台5F 501会議室
みんなで考えよう介護保険!みやぎ県民フォーラム2023」開催、「仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険業計画(令和6~8年度)」中間案へ意見提出、「第9期みやぎ高齢者元気プラン(令和6~8年度)」中間案へ意見提出、宮城県知事及び仙台市長宛に『2024年度介護保険法改定に向けよりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書』提出及び担当部局との懇談について説明
2024年度実務担当者会議・拡大研修会企画内容を協議、年5回開催およびオンラインを含め会場とウェブ開催の併用による運営とすることを確認 出席者 13人

(3) 地域包括ケアシステムについての研究

少子高齢化が急速に進展する中、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、医療・介護・介護予防・住まい及び日常生活の支援が包括的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進と将来にわたり誰もが安心して暮らし続けられるよう、地域共生社会の実現に向けた取り組みが求められています。

宮城県高齢者保健福祉施策の推進と介護保険事業の円滑な実施に向け「第9期みやぎ高齢者元気プラン(令和6(2024)年度~令和8(2026)年度)」の中間案に意見を提出しました。

また、仙台市の高齢者保健福祉施策について、地域包括ケアシステム実現のための方向性を承継しつつ、地域共生社会の実現に向けた取り組みを本格化していくことを重視し、充実した内容の計画となるよう「仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(令和6(2024)年度~令和8(2026)年度)」の中間案に意見を提出しました。

4. 福祉サービスに関する苦情解決の第三者委員の共同委嘱事業

介護・福祉ネットみやぎの会員14団体・129事業所(2023年7月現在)が苦情解決に社会性や客観性を確保し、適切な対応を推進するため、第三者委員を共同で委嘱しました。

【第三者委員】 阿部 徹 (民生委員・児童委員)
佐々木真知子 (消費生活専門相談員)
鈴木 牧夫 (玉川大学名誉教授)
内藤 千香子 (弁護士)
渡辺 礼子 (地域福祉推進員)

(1) 苦情解決の第三者委員研修・情報交流会開催

2023年7月13日(木) 13:00~14:00フォレスト仙台4階4A会議室において、参加者18人で開催しました。第三者委員苦情相談窓口と、共同委嘱している会員団体から事業所における1年間の苦情報告がありました。第三者委員より介護施設側の過失責任が問われた事例等を紹介いただき、介護施設入所者の怪我や事故発生等の予防対策についての重要性を学びました。これからの事業運営において役立つ有意義な情報交流会になりました。

(2) 第三者委員苦情相談窓口の設置

第三者委員苦情受付相談の窓口を一本化し、利用者が相談しやすい環境を作りました。

相談窓口は通年（土日・祝祭日・年末・年始・お盆の期間を除く）9：30～17：00まで開設しました。相談実績は1件でした。

5. 介護サービス「情報の公表」調査事業

宮城県及び仙台市より調査機関に指定され、調査事業を実施しました。2023年度は、調査員として73人に委託し、宮城県管轄338事業所、仙台市管轄245事業所、合計583事業所の介護サービス「情報の公表」の調査を行いました。2023年5月より新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたため訪問での調査を行いました。調査員は、5類移行後も新型コロナウイルス感染対策として調査の1週間前から健康チェックを行い事務局に報告し、調査当日は事業所に健康チェック表を持参し健康状態について報告してから調査を開始しました。また、マスクの着用、手指消毒、必要に応じてフェイスガードの着用など徹底しました。

(1) 「情報の公表」調査事業推進委員会

情報の公表調査事業の適正な推進を確保するために情報の公表調査事業推進委員会を設置し、情報の公表調査事業計画・事業報告・調査事務に関することを検討しました。

【調査事業推進委員】

入間田範子（NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長）【委員長】

寺岡 良一（元民生委員・児童委員）【副委員長】

及川 律子（元国家公務員共済組合連合会水府病院看護部長）

畑山みさ子（宮城学院女子大学名誉教授）

若生 栄子（公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部代表）

第1回 2023年10月27日（金）10：30～12：00 フォレスト仙台5階事務所

第2回 2024年4月3日（水）10：30～12：00 フォレスト仙台5階事務所

第3回 2024年5月27日（月）13：30～15：00 フォレスト仙台5階事務所

(2) 「情報の公表」調査実務向上検討委員会

「情報の公表」についてより深い理解をしている『「情報の公表」調査員指導者』の資格者を含む4人を委員とし、調査員研修の持ち方等について検討しました。

【調査実務向上検討委員】

渡辺礼子（情報の公表調査員指導者養成研修修了）【委員長】

入間田範子（NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長）

石坂幸子（NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ事務局チーフ）

佐々木真由美（情報の公表調査員指導者養成研修修了）

第1回 2023年9月6日（水）10：30～11：40 フォレスト仙台5階事務所

第2回 2024年4月11日（木）10：30～12：00 フォレスト仙台5階事務所

(3) 介護サービス「情報の公表」・福祉サービス「第三者評価」苦情解決の第三者委員会

介護サービス情報の公表及び福祉サービス第三者評価事業の苦情解決に社会性や客観性を確保し、適切な対応を推進するため、第三者委員を3人に委嘱しました。

- 【第三者委員】 井野場晴子 （弁護士）
 関谷 登 （東北学院大学名誉教授）
 大森美和子 （民生委員・児童委員）

① 「情報の公表」「第三者評価」事業の苦情解決の第三者委員研修・情報交流会の開催
 2024年4月18日（木）13：30～15：00 フォレスト仙台5階501会議室

② 「情報の公表」「第三者評価」第三者委員苦情相談窓口開設

苦情相談窓口は介護・福祉ネットみやぎ事務局に設置しています。

苦情相談担当者は第三者委員からの助言や立会いが必要な場合や、報告を必要としている苦情について適切に対応します。2023年度は第三者委員への報告が必要な苦情相談はありませんでした。相談窓口は通年（土日、祝祭日、年末・年始・お盆の休業期間を除く9：30～17：00まで）開設しました。苦情相談実績はありませんでした。

（4）宮城県・仙台市及び宮城県指定情報公表センター、情報の公表調査機関の打合せ会議

調査の平準化を図り更に調査の質の向上と介護保険制度や国・県の「情報の公表」に関する情報を共有していくために、1回開催され出席しました。

（5）「情報の公表」調査員研修会の開催

調査員としての資質向上と調査機関間の調査の平準化をめざし調査員研修を3回、新人研修を1回開催しました。運営情報項目に関する解釈、調査時の心得、介護保険制度改定内容などについて学ぶとともに、毎回、学習会や研修会を持ち、幅広い知識を得ることにもつとめました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、オンラインでの参加もできるようにしました。

	テーマ	講師名	日時	場所	参加人数
新人	・当法人設立経過、活動内容、介護保険制度、情報の公表・外部評価・第三者評価の制度の違いなどについて	・入間田範子さん（介護・福祉ネットみやぎ副理事長）	10/6（金） 10：30～ 12：00	フォレスト 仙台2階 第10会議室	24人
第1回	・運営情報項目に関する解釈について ・令和5年度作業工程、公表システム変更点などについて ・「認知症ケアについて」	・佐藤南平さん（宮城県長寿社会政策課運営指導班主査） ・郡司大輝さん（仙台市健康福祉局保険高齢部介護事業支援課居宅サービス指導係主事） ・三浦久美子さん（宮城県指定情報公表	10/6（金） 13：00～ 16：30	フォレスト 仙台2階 第10会議室	59人

		センター) ・内海裕さん（宮城県グループホーム協議会会長）			
第2回	・2024年介護報酬改定にどう対応するか	・山際 淳さん（一般社団法人全国コープ福祉事業連帯機構常務理事）	12/14（木） 14：00～ 16：00	フォレスト 仙台2階 第10会議室	55人
第3回	・ケアマネジメントとケアプラン作成について ・2023年度情報の公表調査事業全体を通して	・山崎彰子さん（合同会社ワイズケアプランセンター木もれび管理者） ・事務局より	2024/4/25 （木） 13：00～ 15：00	フォレスト 仙台2階 第1.2会議室	43人

6. 地域密着型サービス外部評価事業

2010年、宮城県より外部評価機関に選定され、評価事業を実施しています。2023年度は、評価調査員として47人に委託し、県内57事業所の評価調査を訪問にて行いました。

当法人は、要介護者と介護者の人権擁護（尊重）、地域住民の福祉向上に資するよう公正中立な立場できめ細やかな評価を目指して外部評価を実施しました。

（1）「外部評価」審査委員会

委員会は、外部評価事業について報告し、その内容について意見をいただき、評価事業の運営の適正化を図ることを目的としています。更に、評価報告書に関して、専門的な観点から審査を行う必要があると判断される場合等に意見をいただいています。

【審査委員】

内館 昭子（NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事長【委員長】）

内海 裕（NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会会長）

小湊 純一（一般社団法人宮城県社会福祉士会副会長）

若生 栄子（公益社団法人認知症の人と家族の会宮城県支部代表）

2023年 7月27日（木） 13：30～15：00 フォレスト仙台5階事務所

（2）「外部評価」評価委員会

評価調査員が作成した評価報告書を承認し、評価機関として評価を決定していただきました。

【評価委員】

入間田範子（NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長）

【委員長】

齋藤 境子（前NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事長）

佐々木真由美（NPO法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ事務局次長）

田村 孝夫 (地域密着型サービス外部評価調査員)

平間 止 (地域密着型サービス外部評価調査員)

第 1回	2023年 8月 4日 (金)	10:30~11:30	フォレスト仙台5階501会議室
第 2回	2023年 9月 1日 (金)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第 3回	2023年 9月15日 (金)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第 4回	2023年11月10日 (金)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第 5回	2023年11月24日 (金)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第 6回	2023年12月 1日 (金)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階501会議室
第 7回	2023年12月 8日 (金)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第 8回	2023年12月22日 (金)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第 9回	2023年12月26日 (火)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第10回	2024年 1月12日 (金)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第11回	2024年 1月19日 (金)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第12回	2024年 2月 2日 (木)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第13回	2024年 2月 9日 (金)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第14回	2024年 2月16日 (金)	10:00~12:30	フォレスト仙台5階事務所
第15回	2024年 2月22日 (木)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第16回	2024年 3月 1日 (金)	10:00~13:00	フォレスト仙台5階事務所
第17回	2024年 3月 8日 (金)	10:00~12:00	フォレスト仙台5階事務所
第18回	2024年 3月15日 (金)	10:00~12:00	フォレスト仙台5階事務所
第19回	2024年 3月22日 (金)	10:00~12:00	フォレスト仙台5階事務所
第20回	2024年 3月29日 (金)	10:00~12:00	フォレスト仙台5階事務所
第21回	2024年 4月 5日 (金)	10:00~12:00	フォレスト仙台5階事務所
第22回	2024年 4月12日 (金)	10:00~12:00	フォレスト仙台5階事務所
第23回	2024年 4月19日 (金)	10:00~12:00	フォレスト仙台5階事務所
第24回	2024年 4月26日 (金)	10:00~12:00	フォレスト仙台5階事務所

(3) 「外部評価」調査員フォローアップ研修会の開催

評価調査員の資質向上と地域密着型サービスの知識を深めるために調査員研修を3回、新人研修を1回開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、オンラインでの参加もできるようにしました。

	内容	講師名	日時	場所	参加人数
第1回	・2024年度介護保険制度改定への「生協の政策提言」等について ・2022年度外部評価結果の分析結果について	・入間田範子さん (介護・福祉ネットみやぎ副理事長) ・田村孝夫さん (外部評価委員)	8/4 (金) 13:00~ 16:00	フォレスト仙台4階 4A 会議室	44人

新人	・「情報の公表」調査員研修と 同じ	10/6 (金) 10 : 30～ 12 : 00	フォレスト 仙台2階 第10会議室	24人
第2回	・「情報の公表」調査員研修と 同じ	12/14 (木) 14 : 00～ 16 : 00	フォレスト 仙台2階 第10会議室	55人
第3回	・「情報の公表」調査員研修と 同じ ・評価委員会より2023年度の 振返り	2024/4/25 (木) 13 : 00～ 15 : 00	フォレスト 仙台2階 第1.2会議室	43人

(4) 『利用者家族等アンケートまとめ』の作成

2023年度は、グループホーム57事業所の外部評価を行いました。外部評価は、「書面調査（現況調査・自己評価調査・利用者家族等アンケート調査）」と「訪問調査」の結果を取りまとめ、総合的な評価を実施しています。

利用者家族等アンケート調査（以下 アンケート）は、920人に配布し581人から回答いただき、回収率は63.2%でした。アンケートを集計し、「1.2.3.4.」の選択項目は、自己評価のアウトカムと比較できる『表』としてまとめ、評価に活かすよう努めています。また、『表』は訪問調査の際に事業所に渡しケアの質の向上に役立てていただいています。家族の自由記述は守秘義務から事業所に直接伝えていませんが、家族の深い思いが込められた言葉で埋め尽くされています。

外部評価利用者家族等アンケート集計結果（自由記述は除く）については、ホームページに掲載し情報提供を行っています。

7. 福祉サービス第三者評価事業

2013年宮城県より「福祉サービス第三者評価機関」に認証、2016年社会福祉法人全国社会福祉協議会より「社会的養護関係施設第三者評価機関」に認証され、評価事業を実施しています。2023年度は、評価調査者として28人に委託し、県内障がい者分野3施設、社会的養護関係施設1施設、合計4施設の評価を行いました。

(1) 「福祉サービス第三者評価」審査委員会

委員会において、評価調査者が作成した評価報告書を承認していただきました。

【審査委員】

石井 敏（東北工業大学副学長、建築学部長、教授、工学博士）【委員長】

坂口 繁治（社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価調査者）

齋藤 境子（前介護・福祉ネットみやぎ理事長、福祉サービス第三者評価調査者）

2023年12月20日（水）13：30～16：30 フォレスト仙台5階501会議室

2024年1月24日（水）13：30～16：30 フォレスト仙台5階501会議室

(2) 「福祉サービス第三者評価」事業推進検討委員会

福祉サービス第三者評価事業の適正な推進を確保するために委員会を設置しています。

当法人の2022年度福祉サービス第三者評価事業の実績及び2023年度の評価事業の見通しについての報告、福祉サービス第三者評価受審手数料見直しの報告と受審推進に向けて意見交換を行いました。また、2023年度評価事業普及協議会（全国社会福祉協議会主催）の開催内容について情報提供をしました。

【事業推進検討委員】

内舘 昭子（NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事長）【座長】

入間田範子（NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ副理事長）

嵐田 光宏（NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事）

山崎 彰子（NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事）

齋藤 境子（福祉サービス第三者評価審査委員）

菊地 ひろ子（福祉サービス第三者評価調査者）

菅原 和子（福祉サービス第三者評価調査者）

2023年7月26日（水）14：00～16：00 フォレスト仙台5階事務所

(3) 令和5年度宮城県福祉サービス第三者評価調査者養成研修（宮城県主催）

本研修は、社会福祉事業の事業者が提供する福祉サービスについて、公正中立な第三者機関が客観的・専門的な立場から評価する「福祉サービス第三者評価」を適切に実施するため、評価調査者の養成とその資質の向上を図ることを目的に実施するものです。2023年度は、評価調査者として1名養成しました。

2024年2月13日（火）、14日（水）10：00～16：30 オンライン研修

2024年2月15日（木）10：00～16：00 施設実習（宮城県船形の郷）

2024年2月16日（金）10：00～15：15 東京エレクトロンホール宮城401中会議室

(4) 令和5年度宮城県福祉サービス第三者評価調査者継続研修（宮城県主催）

本研修は、福祉サービス第三者評価を継続的に実施するために必要となる専門的知識と技術及び資質の向上を図ることを目的に開催されました。2023年度は、評価調査者5人が参加しました。

2024年2月28日（水）9：30～16：20 東京エレクトロンホール宮城401中会議室

(5) 令和5年度社会的養護関係施設第三者評価事業「評価調査者」養成研修（全社協主催）

本研修は、社会的養護関係施設の第三者評価の円滑な実施をはかるため、社会的養護に関して専門的を有する評価調査者を育成することを目的に実施するものです。2023年度は、評価調査者として1名養成しました。

【研修①】 2024年2月7日（水）～3月6日（水）オンラインによる動画配信

【研修②】 2024年2月21日（水）10：00～16：00 オンラインによるライブ配信

8. みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度事業(以下、宣言認証制度)

県内介護事業所の人材確保・定着及び全体的な取組の底上げに資することを目的とし、宣言認証制度の第1段階、第2段階の周知及び申請事業所の認証までの一連の業務の運営を行いました。

- (1) 2023年度より認証機関がこれまでの介護人材確保協議会会長から宮城県知事に変更されたことに伴い、宣言認証制度に関する要綱・要領など各種規程類や申請書・通知書等を新設及び改定しました。
- (2) 第2段階に関しては、確認調査機関の委嘱のための準備を行い、確認調査員6人を養成しました。また、調査員のフォローアップ研修も32人の出席で行いました。
- (3) 宣言認証制度推進委員会(以下、推進委員会)の開催
2023年度は年1回の開催となり、8月2日に仙台市魚信基ビルで開催しました。回数が減ったことに伴い、四半期ごとのまとめを推進委員へ報告しました。
- (4) みやぎ介護人材を育む取組宣言認証制度の周知及び募集
募集のためのチラシ作成等
 - ①宣言認証制度取組開始案内チラシA4(3,900部)を作成、情報の公表センター配布物に同封
 - ②宣言認証制度取組受付案内チラシA3(3,000部)を作成、対象事業所及び法人本部に配布
 - ③宣言認証制度取組受付案内チラシA3(620部)を作成、地域密着型サービス事業所に自治体を通じて配布
 - ④一般向けチラシA4カラー(8,000部)を作成及び関連団体等に配布
- (5) 認証制度の在り方検討ため、現状の宮城県の課題や他都道府県の事例を調査し、宮城県に報告書を提出しました。

9. 介護・福祉事業者のネットワークとして社会的に発言する活動

(1) 介護保険制度の改善に向けた活動

「介護の社会化」をめざし、2000年度より施行された介護保険制度は23年を迎えました。

介護保険制度は制度改定のたびに、介護保険料が上がり、利用者の自己負担が増えるなど、これまで政府が進めてきた給付削減・負担増の見直しが利用者・家族に深刻な介護困難・生活困難をもたらしています。

一方、介護事業者の多くは、この間の介護報酬等の抑制の中で大変厳しい経営状況となり、倒産件数は過去最高水準を推移しています。3年に渡るコロナ禍や物価高騰により、疲弊した介護事業者の経営をこれまで以上に追い詰める結果となっています。介護現場は介護人材の不足や厳しい事業運営を抱えながら、利用者の介護を支えています。慢性的な人手不足は社会問題となっており、サービス継続のためには、経営安定と介護従事者の抜本的な処遇改善が急がれます。今回見送られた要介護1、2のサービス削減、ケアプラン作成への自己負担導入など、利用者と事業者双方にさらなる困難を押しつけるものであり、断じて認めることはできません。

2024年度の介護報酬改定にあたって、介護現場の現状をふまえ、介護事業者の安定的な事業運営、処遇改善、利用者負担の抑制を求めて、国へ要望書を提出しました。

「2024年度介護報酬改定に向けて介護保険制度の見直しを求める要望書」を内閣総理大臣、衆参両議長、厚生労働大臣、財務大臣へ提出【2023年11月28日（火）】

(2) よりよい介護保険制度としていくために他団体との連携

私たちがめざす介護保険制度とするため、また、宮城の介護現場が抱える問題を改善するために、県内で活動する他団体と連携して活動しました。2023年12月16日（土）13:30～16:30 フォレスト仙台2階第5・6会議室にて『みんなで考えよう介護保険！みやぎ県民フォーラム2023』を開催しました。みやぎ県民フォーラム実行委員会では、フォーラムの趣旨にそって、政府が検討している介護保険制度の改定に対し、「すべての人が大切にされる介護保険」を目指し、以下の内容で他団体とともに要請活動を行いました。

- ① 「2024 介護報酬改定に向けて介護保険制度の抜本見直しを求める要望書」を内閣総理大臣、衆参両議長、厚生労働大臣、財務大臣へ提出【2023年10月23日（月）】
- ② 「2024 年度介護保険法改定に向けよりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書」を宮城県知事へ提出及び宮城県担当部局と懇談【2024年1月31日（水）】
- ③ 「2024 年度介護保険法改定に向けよりよい介護保険制度の実現と介護サービス体制を維持するための要望書」を仙台市長へ提出及び仙台市担当部局と懇談【2024年2月9日（金）】

10. 情報の発信

- (1) 「情報紙」は年6回（奇数月）104号～109号を発行しました。発行部数は600部で21会員団体、理事・監事、各委員会の委員、正会員、賛助会員、調査員、宮城県・仙台市の介護保険課、友誼団体等に送付しました。
- (2) 介護・福祉ネットみやぎのホームページをリニューアルし、当法人発行の情報紙や速報をホームページにアップし、活動内容や行政の情報などを随時お知らせしました。また、リンク集を設け介護関連の情報を得やすくしました。
- (3) 介護・福祉ネットみやぎ速報をメール及びFAXで、介護・福祉ネットみやぎ会員、理事会メンバー及び関係団体に向け発信しました。

11. 理事会・監事会・事務局体制

- (1) 理事会を5回開催しました。

2023年度総会第1回	2023年6月15日（木）	16:15～16:55	フォレスト仙台2階第2ホール
2023年度総会第2回	2023年10月17日（火）	14:00～16:00	フォレスト仙台5階501会議室
2023年度総会第3回	2023年12月12日（火）	14:00～16:00	フォレスト仙台5階501会議室
2023年度総会第4回	2024年3月26日（火）	14:00～16:00	フォレスト仙台5階501会議室
2023年度総会第5回	2024年5月23日（木）	14:00～16:00	フォレスト仙台5階501会議室

(2) 監事会を開催しました。

2024年5月23日(木) 16:00~18:00 フォレスト仙台5階事務所

(3) 事務局体制について

- 1) 事務局長・事務局次長・事務局員4人で運営しました。
- 2) 事務局会議を理事長、副理事長の参加のもと月2回開催し、情報の共有を図りました。
- 3) 事務局スタッフの質の向上のための内部研修に参加しました。
- 4) 事務局スタッフの質の向上のための外部研修に参加しました。

① 認知症介護研修会「大逆転の痴呆ケア」宮城県認知症グループホーム協議会主催

講師：和田 行男（(株)大起エンゼルヘルプ取締役） 2023年9月6日（水）

② 「グループホームの魅力再発見」「日本一からの招待」

宮城県認知症グループホーム協議会主催

講師：須江 航（仙台育英学園高等学校教諭 硬式野球部監督） 2023年12月14日（木）

③ 「自然災害BCPの策定について」宮城県認知症グループホーム協議会主催

講師：小湊 純一（NPO法人宮城県ケアマネジャー協会 事務局長） 2024年1月25日（木）

④ 「職場の業務改善成果報告会～障害福祉サービス事業所等のはたらきがいのある職場づくりを目指して～」 宮城県保健福祉部障害福祉課主催

講師：阿部 信子（ウェル・ナビ（株）代表取締役） 2024年3月13日（水）

⑤ 「令和6年度介護報酬改定に伴う実践者向けセミナー（仙台開催）」

一般社団法人日本在宅介護協会東北支部主催

講師：厚生労働省 老健局 2024年4月15日（月）

第1号議案の本旨に反しない範囲の字句修正を理事会に一任願います